

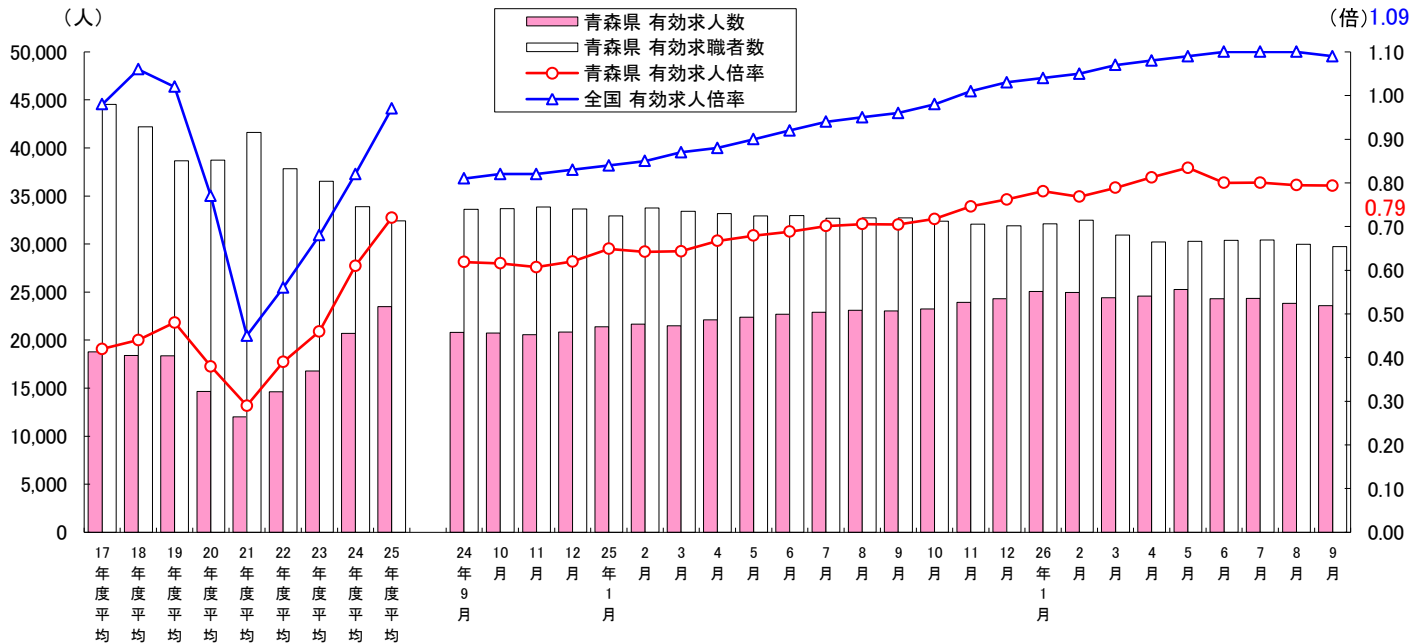
最近の雇用情勢について

(平成26年9月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.9%減少の23,593人、有効求職者数(同)は0.8%減少の29,716人で、有効求人倍率(同)は前月と同水準の0.79倍となった。

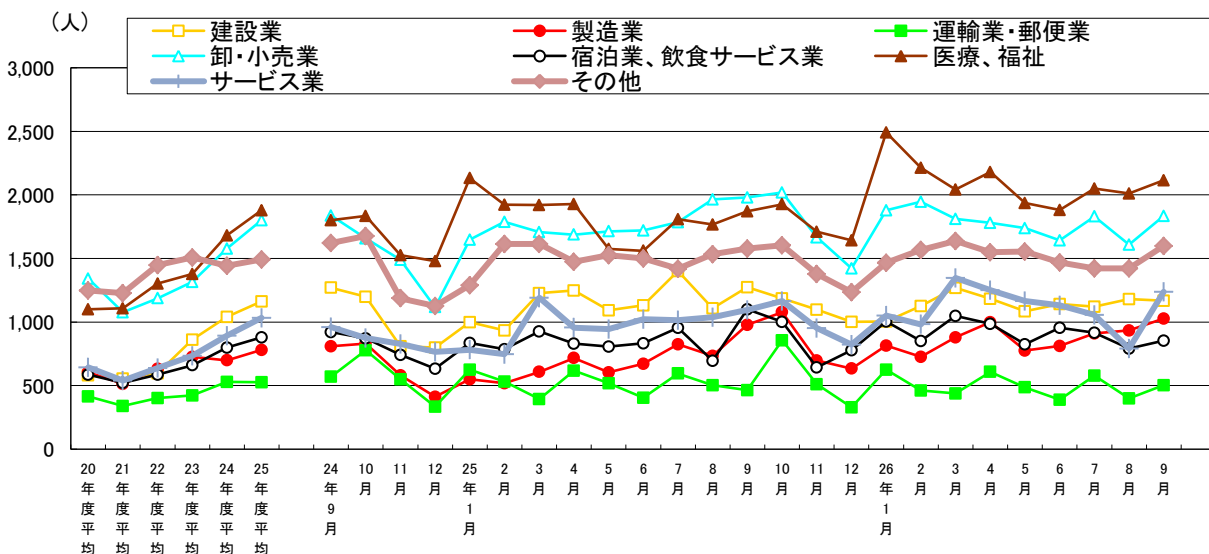


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人(原数値)は前年同月比0.0%(4人)減少、前月比13.1%(1,198人)増加の10,336人。

産業別に前年同月と比較すると、製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業等で増加し、建設業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業等では減少となった。製造業では、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料等製造業、繊維工業、窯業、土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業では減少となった。



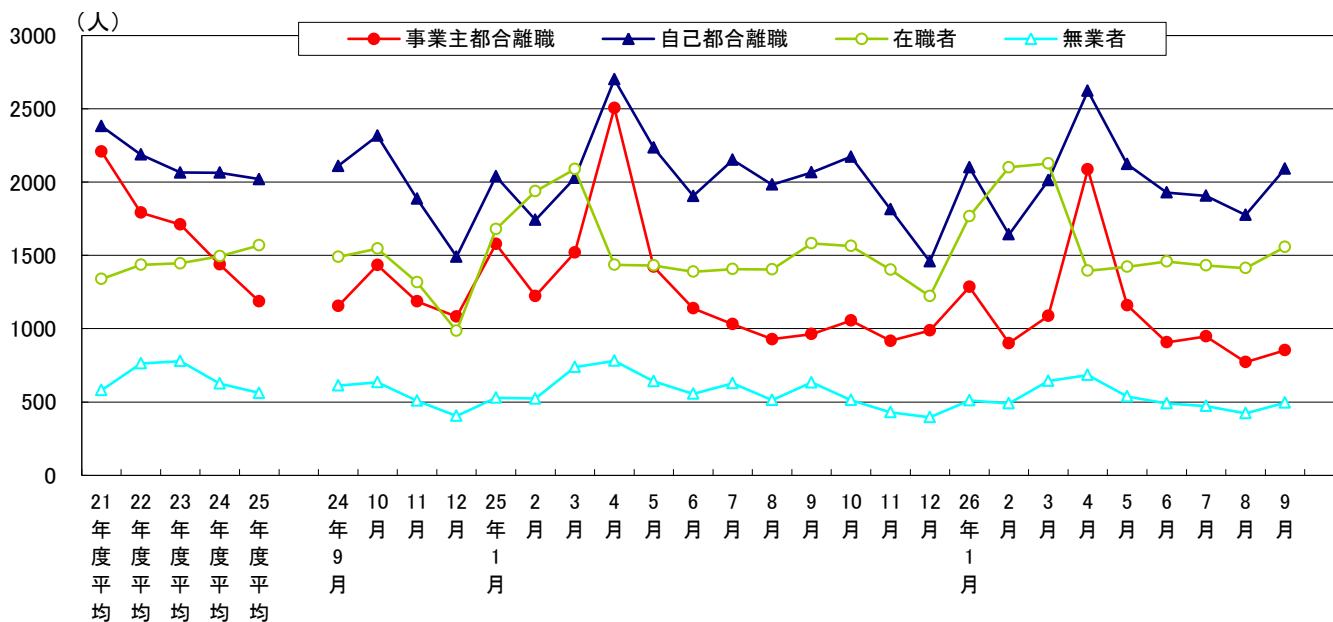
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

9月の新規求職者数は、前年同月比4.7% (254人)減少、前月比14.3% (639人)増加の5,110人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は1.5% (24人)減少し、離職者は2.9% (91人)の減少、無業者も22.0% (139人)の減少となった。

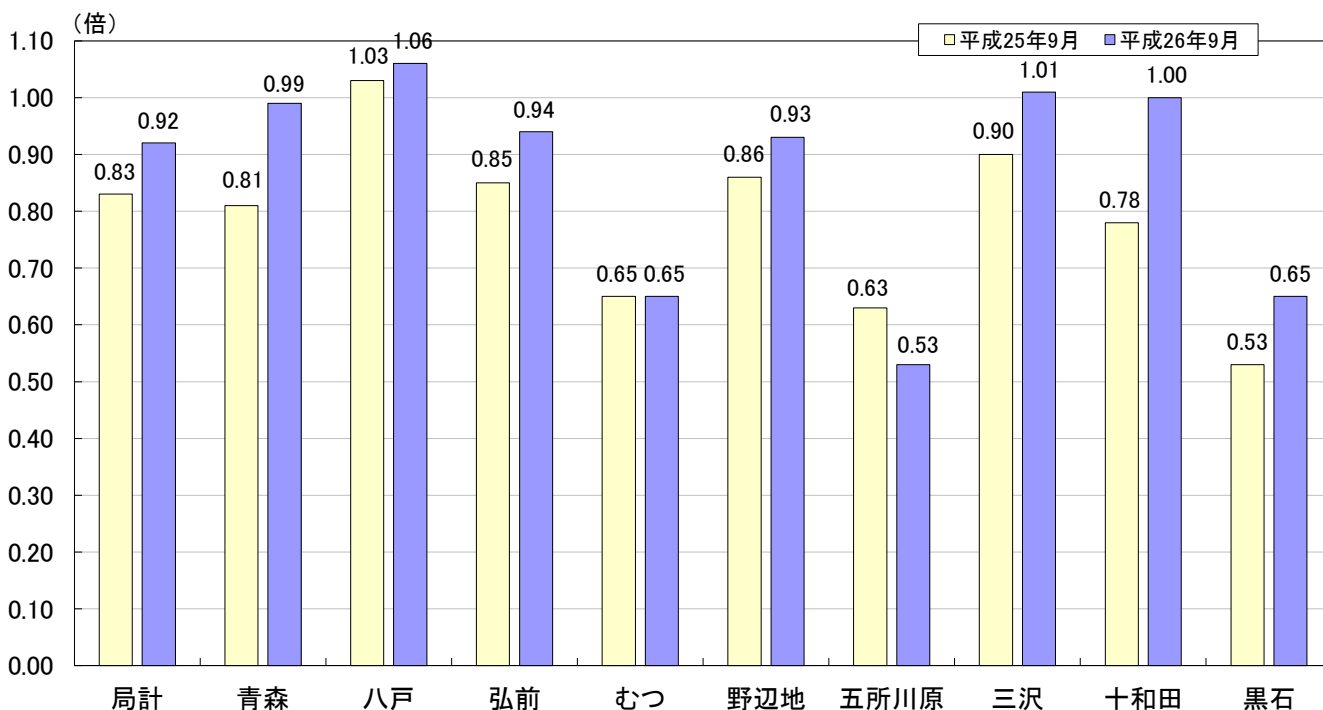
離職理由でみると、事業主都合は11.5% (111人)の減少、自己都合は1.1% (23人)の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.92倍となり、前年同月を0.09ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

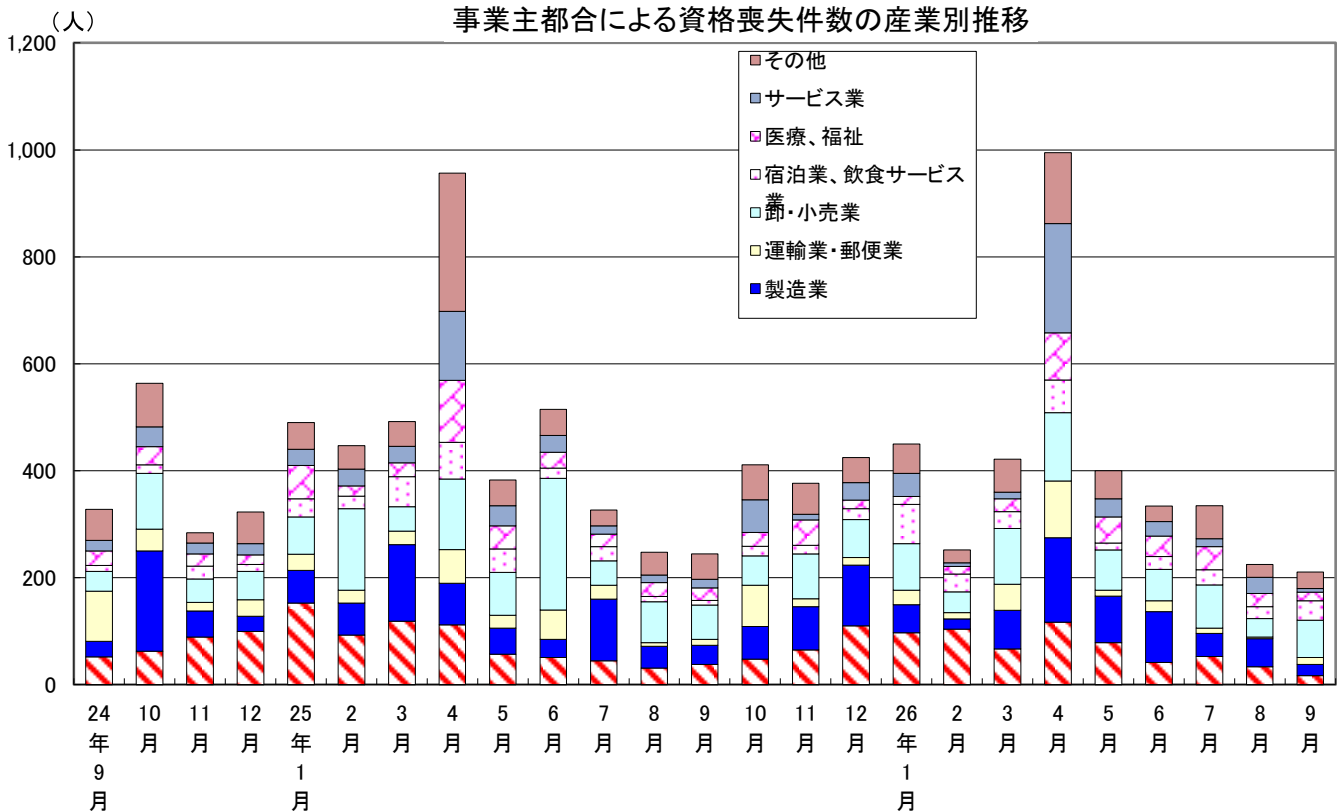
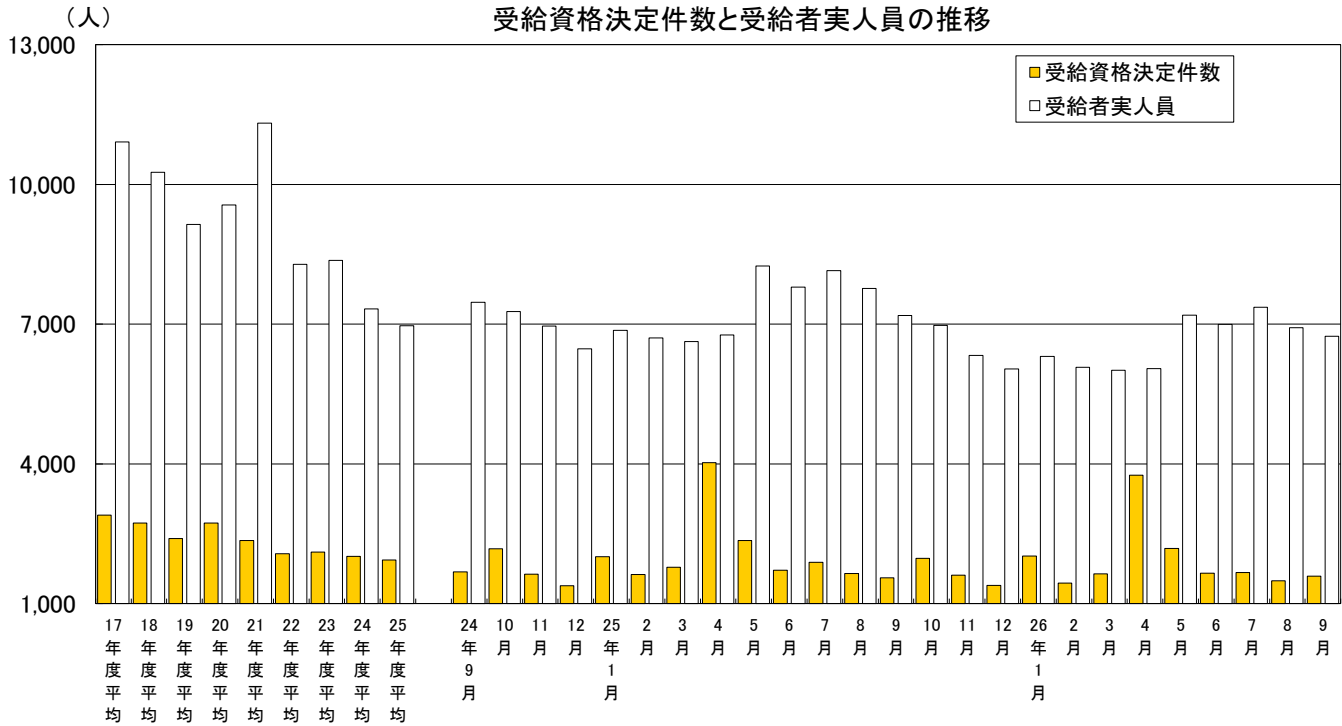


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	27,850	7,168	6,325	5,015	1,295	979	2,689	1,544	1,350	1,485
有効求人数	25,563	7,076	6,721	4,703	842	915	1,426	1,564	1,346	970

V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.2%（446人）減少、前月比では2.7%（187人）減少の6,737人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比2.4%（37件）増加、前月比では6.9%（102件）増加の1,591件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比13.9%（34人）減少、前月比6.2%（14人）減少の211人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。